



かけはし

第85号（臨時号）（令和5年12月1日）



日本年金機構

Japan Pension Service

編集責任者 事業推進統括部
部長 岡村 幸健

日本年金機構ホームページ

日本年金機構 検索 

<https://www.nenkin.go.jp/>

日本年金機構公式X（旧Twitter）アカウント（@Nenkin_Kikou）

はじめに

皆様こんにちは！12月号（臨時号）の「かけはし」をお届けします。

臨時号となる本号では、令和5年11月11日（土）に行われた「市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰」に関する内容について掲載しています。

引き続き、市区町村の皆様との「かけはし」となるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

目次

■ はじめに		p.1
■ 年金局からの連絡		p.1
■ 地域の独自情報		p.5
■ 編集後記		p.5

年金局からの連絡

◆ 市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰について

厚生労働省では、毎年度、国民年金事業に対する功績が特に顕著であって、他の模範と認められる市区町村に対し、その功績を称え労苦に報いるとともに、併せて国民年金事業の発展に寄与することを目的に、市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰を実施しております。



市区町村国民年金事業功績 厚生労働大臣表彰

◆ 令和5年度市区町村国民年金事業功績厚生労働大臣表彰の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和2年度以降表彰式を中止していましたが、今年度は4年ぶりに表彰式を開催し、受賞された皆様に直接お祝いの言葉を伝えることができました。

今年度の被表彰者は、東京都板橋区、島根県松江市、沖縄県那覇市、和歌山県海南市、新潟県中魚沼郡津南町の5市区町です。

表彰式の開催にあたり巽 慎一年金管理審議官が祝辞を述べ、表彰状授与後は表彰市区町村を代表して中魚沼郡津南町の根津 和博副町長から謝辞をいただきました。

受賞された自治体のみなさま、おめでとうございます！

被表彰市区町村の皆様（後列は管轄年金事務所長）▼



祝辞を述べる
巽 慎一年金管理審議官▼



謝辞を述べる
中魚沼郡津南町 根津 和博副町長（左側）▼



◆ 以下、表彰された市区町村の取り組みをご紹介します。

市区町村	取組内容
板橋区 (東京都) 納付率 67.62%	● 区広報誌に月1回以上の頻度で年金制度・手続に関する記事を掲載して制度周知を行うとともに、可搬型窓口装置の活用及び年金事務所との密な連携により、窓口来訪者にきめ細やかな納付・免除勧奨を実施し、住民の年金権確保と納付率向上に貢献した。 ● 令和3年度現年度納付率の対前年度比は第1号被保険者数5万人以上の全44市区で第1位となる+4.94ptを達成した。
松江市 (島根県) 納付率 84.80%	● 口座振替納付申出手続を市役所内の金融機関と連携して受付する取組等、積極的な納付案内等を行うとともに、県内市町村に取組を発信するなどして、島根県内の国民年金事業を牽引し、都道府県別現年度納付率20年連続全国第1位を達成した。 ● 市の令和3年度現年度納付率も第1号被保険者数1万人以上5万人未満の全245市区で第5位となる84.80%を達成した。
那覇市 (沖縄県) 納付率 66.83%	● 機構の沖縄プロジェクトに積極的に協力し、市役所内の関係部署と連携して国民年金加入者を漏れなく国民年金窓口へ案内する取組や、国民年金保険料についてのパンフレットを年2回作成し、市内全戸に配布する取組等を実施し、住民の無年金・低年金防止と納付率向上に貢献した。 ● 令和3年度現年度納付率の対前年度比は第1号被保険者数1万人以上5万人未満の全245市区で第1位となる+6.24ptを達成した。
海南市 (和歌山県) 納付率 88.95%	● 年金事務所と連携して行った文書による独自免除勧奨の取組や、年金生活者支援給付金請求書の未提出者に対する独自提出勧奨の取組等を実施し、住民の年金権確保に貢献した。 ● 令和3年度現年度納付率は第1号被保険者数1万人未満の全526市区で第8位となる88.95%を達成した。
中魚沼郡 津南町 (新潟県) 納付率 90.56%	● 町広報誌に月1回以上の頻度で年金制度・手続に関する記事を掲載することに加え、ねんきん月間に「ねんきんネット」チラシの町内全戸配布を行うなどして、住民への制度周知を行うとともに、町役場での死亡手続時に遺族年金及び未支給年金の相談・請求書受付をワンストップで行い、年金相談体制の強化に貢献した。 ● 令和3年度現年度納付率は全926町村で第44位となる90.56%を達成した。

※令和3年度の取り組みに対する表彰。

地域の独自情報

編集後記

前回の表彰式は2019年4月に行われました。その時の様子を記事にしている「かけはし」第57号を読んでいると、編集後記に新幹線的话题を見つけ、年末年始の帰省に向けてそろそろ予約しないと…という気持ちになりました。筆者は東海道新幹線ユーザーなのですが、もし自分自身に時間があるなら、一度は北陸新幹線に乗り、金沢から特急に乗り換えて地元へ帰省してみたいとひそかに思っています。

さて「かけはし」は、これからも皆様方のご意見とご要望をいただきながら、様々な情報を提供していきたいと考えています。今後も、どうぞよろしくお願いいたします。